

# シーボーグ400W

## 道糸をリールに巻きます「指定入力編」

指定入力とは当社棚センサーライトを巻くとき、データをインプットするだけで道糸入力できる便利な方法です。ただし、下記の場合のみ可能です。

・下巻きをしない場合 ・11ページの表に記載されている号数および巻き糸量の場合

### 1. 道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン（P.8参照）を使うとかんたんに通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

### 2. パワーレバーをOFFまで戻します。

### 3. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.2電源とのつなぎ方を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。

※糸を巻き込まないように注意してください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようご注意ください。

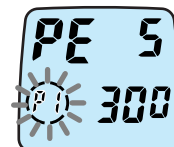
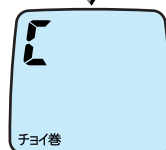
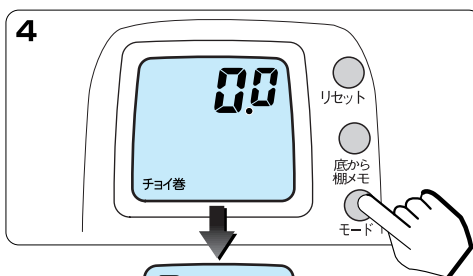
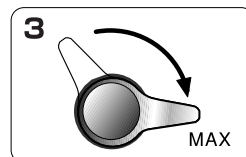
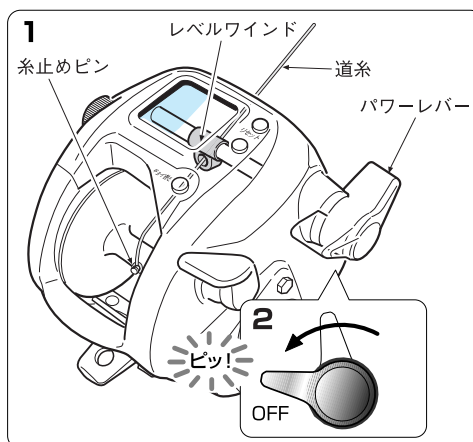
※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

### 4. 表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

### 5. 初期設定PE5号－300mの画面になり **P1** が点滅します。

### 6. パワーレバーで、数値をセットし、**モード** スイッチを押せば完了です。

（ **0.0** に戻ります。）





PE（左上の表示がPEの場合）(m)					
3号	100	200	300	400	430
4号	100	200	300	350	
5号	100	200	300		
6号	100	200	220		

- ※シーボグ400W には、あらかじめタナセンサーブライツ5号-300mのデータが入力されています。タナセンサーブライツ5号-300m巻く場合は、データのインプットは不要です。
- ※標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。

## 道糸をリールに巻きます「リールに巻く糸の長さがわかる編」

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。  
当社棚センサーブライght以外の道糸を巻く場合は、この方法で入力してください。

### 1. 道糸をレベルウィンドに通してスプールの間に結んでください。

- ※標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。
- ※付属の糸通しピン(P.8参照)を使うとかんたんに通せます。
- ※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

### 2. パワーレバーをOFFまで戻します。

### 3. リールを通电させ表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

- ※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

### 4. 初期画面になります。

(**P1** が点滅します。)

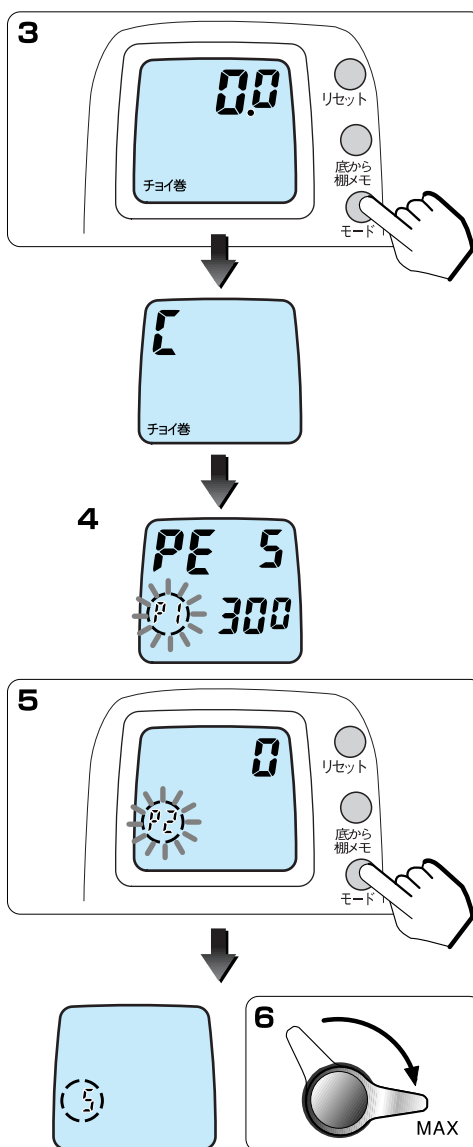
### 5. もう一度 **モード** スイッチを押します。

(**P2** が点滅します。)

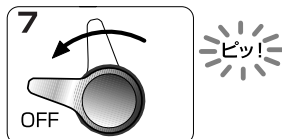
### 6. パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

パワーレバーを倒すと **P2** がテンション表示に変わります。  
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。  
巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。(スプールの回転数を表示します。)

- ※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。  
糸があたらないようご注意ください。



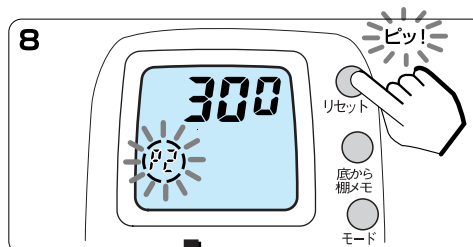
7. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



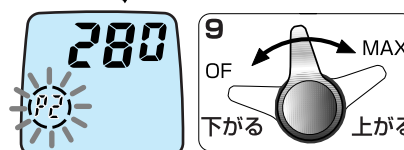
・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。



8. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が**300**になるまで押し続けてください。(300は初期値です。)



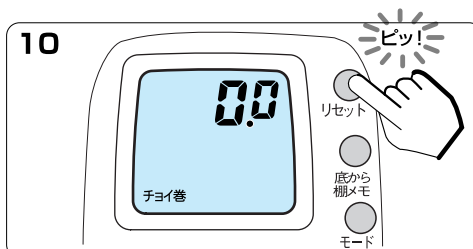
9. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。(図は、280m入力した場合です。)



10. **リセット** スイッチを2秒以上押し続けてください。

(アラーム音が鳴り、表示が**0.0**になれば完了です。)

※ **Err** になった場合は、糸を抜いて手順3から再度入力をしてください。**モード** スイッチを押せば、**0.0**に戻ります。)

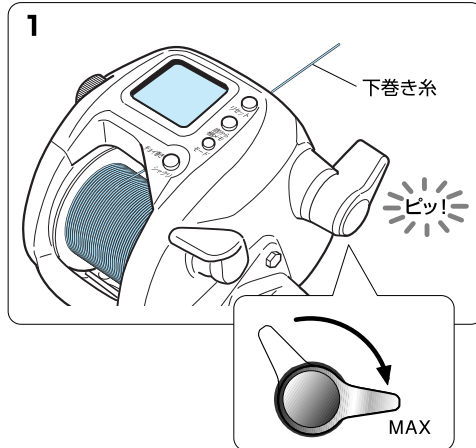


## 道糸をリールに巻きます「下巻き入力」

ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

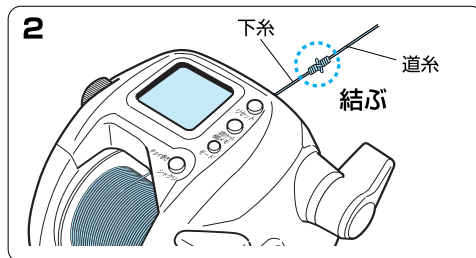
1. リールを通电させ、パワーレバーをMAXの位置まで倒し、下巻き糸を適量まで巻いてください。

※標準巻糸量設定は、PEライン専用となっております。  
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。



2. 道糸と下巻き糸を結び、道糸の色を見ながら残り100mまで巻取ります。

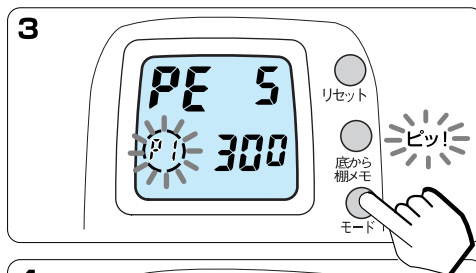
※用意した道糸量が100mの場合は、3へ。



3. **モード** スイッチを5秒以上押します。

(指定入力画面になり **P1** が点滅します。)

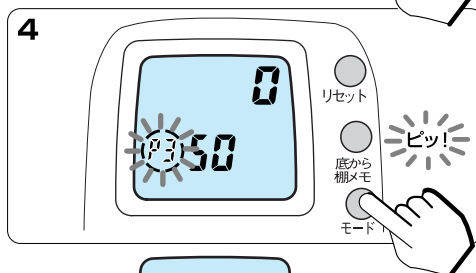
※2秒でチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。



4. さらに **モード** スイッチを2回押すと下巻きモードになります。

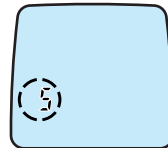
( **P3** が点滅します。)

パワーレバーを倒すとパネル左下の数値がテンション表示に変わります。  
巻き取りを始めると、上のカウンターの数値が増えていきます。(スピールの回転数を表示します。)



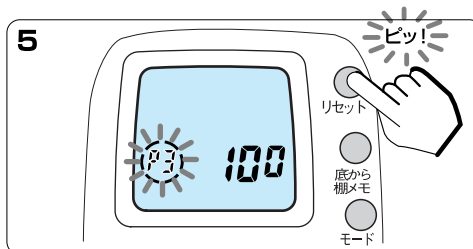
パネル左下の数字が4~5になるようにテンションを調整して巻いてください。

※フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらぬようご注意ください。



5. 道糸の色に注意しながら50m巻き取り、**リセット** スイッチを2秒以上押してください。

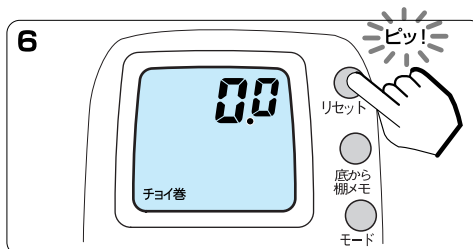
(下の数字が50から100にかわります。)



6. 同様に残りの50m巻き、**リセット** スイッチを2秒以上押してください。

(表示が **0.0** になり、完了です。)

※ **Err** になった場合は、糸を抜いて手順3から再度入力をしてください。**モード** スイッチを押せば、**0.0** に戻ります。)



・この下巻き入力で入力した場合は、100mを超える部分の表示精度は保証されません。巻いた糸全体の表示を確実に行う場合は「指定入力編」が「リールに巻く糸の長さがわかる編」で入力してください。